

# 大町労山だより

VOL1-NO2 2014. 5. 21発行

拡大役員会に 16 名が出席

## 奥穂遭難事故報告に論議集中 5月13日(火) 拡大役員会

5月5日の奥穂南稜における県連有志による岳沢合宿遭難事故から1週間を経た13日(火)、定例の5月度拡大役員会が開かれ、遭難事故を心配した役員・会員併せて16名が出席して白熱した議論が交わされました。

最初に、岳沢合宿(県連7つの会から14名、うち大町労山から4名が参加)にも参加していた鈴木事務局長から『奥穂高岳遭難にかかわって…、何が問題点で何がよかったか』と題して、低体温症による死者・行方不明者合わせて30名に及んだ今季GW中の遭難の実態が資料報告されると共に、南稜における労山県連隊の遭難についての過不足ない検証を求める問題提起がありました。

次いで、南稜隊の勝野リーダーから『岳沢合宿遭難事故経過と反省点』(右)と題する文書報告と、最後まで行動を共にした小山、横田隊員、および体調の不調を感じて自ら途中撤退した鈴木隊員からの当日の感想・反省等の報告があり、これを受けて参加者から質問や意見が出されました。(3人の感想は、次号に予定)

今回の遭難については大町労山単独の山行ではなく、各会からの参加者による県連の行事であることから、他の会の参加者や県連レベルでの総括等が行われるべきものであるため、現時点で大町労山としての総括的な報告を出す段階ではありません。

この日の大町労山拡大役員会では、当日、奥穂周辺で何件もの遭難があり、死亡事故も起こっている中で、8名全員がケガもなく無事救助されたことは、ビバーク判断が適切であったと言う点に対する正当な評価と共に、『結果が良ければよし』とするのではなく、指摘された幾多の問題点について引き続き厳しい検証が必要であることが確認されました。



雪上訓練風景



## 岳沢合宿遭難事故の経過と反省点

勝野 秀次郎

**5月5日;奥穂南稜へ** 午前3時半前、BCをスタート、奥穂南稜へ向かう。天候は曇りで気温は高め。雪が腐っていて歩きにくい部分もあったが、前日のトレースを利用することができ、ルートファインディングは比較的楽であった。

午前9時すぎより小雪が降りだし風も強くなる。風が体温を奪う。だいぶ時間をかけてトリコニーを右に回り込み、上部に出る。8人での登攀はロープを使う場面もあり、予想以上に時間がかかった。このペースでは稜線には到達できないと判断して午前10時には下山を開始する。

下山もまた何度も懸垂下降し、人数が多いため時間がかかった。天候も悪化し、このまま行動を続けるのは危険と判断し、午後3時の時点でビバークを決定する。BCとの無線交信も行う。2700m地点でピッケルを使い、ビバークサイトを作る。体力を消耗している人も多く、作業に時間がかかったが午後5時には3人・2人・1人・1人・1人でツエルトに入ることができた。夜、S(上小)が体調不良を訴える。お湯を欲しがり、2度お湯を与え、夜を過ごす。A(佐久)は寒さを訴える。ツエルトの中でガスをつけ、暖をとる。行動食をとり、口を動かすようにすすめる。

**5月6日;救助要請** 6日、自力で降りる自信がないというメンバー(S, A)も出てきたので、朝6時前に正式にヘリ救助を要請する。

7時にヘリが現れるが風が強く、危険でヘリが近づけない。結局、午後3時に第1便、元気だったメンバーもその時間からの下山は難しいと判断し、全員ヘリで救助してもらう。午後4時半に上高地に到着。護送車で移動し、松本警察署で事情聴取を受ける。その後、30名ぐらいのマスコミ取材に対応する。極力、謙虚な対応をしたつもりだが、報道は事実と違う報道をされてしまった。

5人が医者にかかるが、Sが疲労。大事をとって佐久に一泊し、翌日元気に自宅に帰った。Aが持病の腎臓病の治療のため入院、10日に退院した。

**5月7日;BC撤収** 早朝上高地入りした勝野、BCに残っていた佐久、カモシカ、の各1名と6日夕方に上高地入りした駒ヶ根の1名でBCの装備類を撤収する。荷物が多すぎたため、連絡して、鈴木・小山を呼び、荷物を下ろしてもらう。

**5月10・11日;残置装備撤収** 2700m地点にデポしてきた荷物を即刻撤収してもらいたいということで、駒ヶ根、まみくとい、佐久の各1名と勝野でリュック、ピッケルなどの8名分の残置装備を無事に撤収し終える。

### 反省点

- 悪天候とわかりながら、大人数で、予定通り決行してしまった。
- 隊員の健康状態の把握ができなかった。
- 引き返す判断を出すタイミングが遅かった。



## 満開のシャクナゲに酔い 大展望を満喫！

罫ノ峰募集山行に 45 名が参加  
(一般 32 名+会員 13 名)



5月18日(日) 恒例の罫ノ峰公開募集山行が行われ、快晴の下、32名の参加者+会員13名の計45名が3班に分かれて登頂し、コップ4つ分の豚汁を賞味し、また山名解説付きで360度の大展望を心行くまで堪能し、全員無事に下山しました。

お目当てのシャクナゲは例年になく花が多く、しかもドンピシャのタイミングで艶やかな姿を惜しみなく披露してくれ、申し分のない募集山行でした。4つのコップいっぱい豚汁も余すことなく食べきり、食後は360度の大展望を山名解説付きで楽しんでもらう等して、何と登頂後1時間半もの長きにわたってゆったりと過ごし、満足して下山してもらうことが出来ました。

### 今回工夫したこと

今回は、シャクナゲは満開を迎え、天候にも恵まれて多数の登山者が同峰を訪れるのは必至とみて、狭い山頂で他の登山者に迷惑をかけず、大勢の参加者に楽しんでもらうためにはどうしたらよいか〜と考え、2つの策を講じました。

その1は、全体を3つの班に分けてそれぞれにCLを置き、班と班の間隔を充分取って、他の登山者の追い越しやすれ違いに支障を来さないようにすると共に、各班に配置された会員が積極的に参加者に話しかけて楽しく登ってもらうこと。



無事下山後、全員の集合写真

その2は、大きめのブルーシートを笹の上に敷き、その上に座ってもらう等して少しでもスペースをつくることです。笹の上に敷いたシートは決して座り心地がいいとは言えませんでした、少なくともそういう努力をしたことは、他の登山者からも好感を持たれたようでした。また、先着されていた一般登山者や後から来られた方達にも話しかけたりかけられたりして、和気藹々と交流する場面があちこちで見られました。

### 罫ノ峰登山 アンケートに見る参加者の声 (回答 22名)

今年の特徴は、一般参加者32名中、男性3名に対して女性が29名と圧倒的に女性が多かったこと、60~70才台の高齢者と共に30才・40才・50才台の人もかなりあったことなどです。

地域別では安曇野市が12名と群を抜いて多く、次いで松本市7名、松川村6名で、大町市は3名でした。情報源は「市民タイムス」など、ローカル紙よるところが大了。

参加者の内訳は、右の表。以下、アンケート結果です。

#### 1; 募集は何で知りましたか?

- ・友人等から誘われた: 12
- ・「タウン情報」: 4
- ・「市民タイムス」: 4
- ・「大糸タイムス」: 2

性別	
男	3
女	29

年齢別	
30歳代	4
40歳代	1
50歳代	6
60歳代	17
70歳代	4

地域別	
大町市	3
松川村	6
安曇野市	12
松本市	7
白馬村	3
小谷村	1

#### 2; また参加したいですか?

参加したい: 19 分らない: 3

#### 3; 秋の山行の希望の山は?

唐松岳・爺ヶ岳・雨飾山・京ヶ倉・焼岳・罫ノ峰・鹿島槍

いつか槍ヶ岳へ…  
罫ノ峰・里山どこでも!

#### 4; 加入しませんか!?

加入したい: 2

会の説明を聞いてもよい: 6



罫ノ峰山頂からの爺ヶ岳(種まき爺さんの雪形が見える)と鹿島槍



## 5; 今回の感想は! (一部紹介)

### 「アルプスが手に取るように」「シャクナゲ最高!」「また来たい!」

天気に恵まれ最高でした。アルプス連山を目の前(手に取るよう)に堪能しました。リーダーもゆっくり合わせてくださり、良かったです。10年ほど前に上りましたが、シャクナゲが見られず、ネジ木の花ばかりだったと思います。今日はシャクナゲが見られて嬉しかったです。(70代・女性)



シャクナゲが美しい時でよかったです。危険なところがあったり、変化のある山道で、景色も良くて良かった。会の方のサポートもしっかりしていて安心して上れた。山へは行きたいけれど、一人では行けないので、このようなイベントをどんどんしてほしいです。(50代・女性)

山登りは初めてで、体調もあまり良くない中で、天候にも恵まれ、気持ちよく参加できました。会員の皆様には感謝します。ありがとうございます。(匿名)

天気にも恵まれ、シャクナゲ最高。来年も企画があれば、参加したいです。加入希望はありますが、親の介護をしているので、現在は無理です。今回のような日帰り時間が長時間でなければ、参加できる回数も増すのですが…。(50代女性)



鍬の峰山頂からの左から北葛・針ノ木・蓮華岳

## イベント参加報告

## 佐久市強歩大会に参加して

4月19日(土)~20日(日) 小山 守彦



佐久市強歩大会は、蕪崎市蕪崎小学校体育館から佐久市総合体育館まで『78km』を18時間以内で歩く大会です。19日夜9時にスタートして20日午後3時までにゴールするというものです。

この大会は47回目を迎え、約半世紀の歴史があります。私は、長く毎年参加していました。一度参加しなかったり、完歩出来なかったりすると連続参加記録が途絶えてしまうのです。

連続記録を伸ばすことは、私にとって大事な目標だったのですが、体調不良からその目標は途絶えて、新たな一歩を踏み出す4年ぶりの参加となりました。

国道141号線を歩き続け、野辺山JR最高地点(標高1,387m)を越えます。ここでゴールまで44キロあります。先はまだ長いですが最高所地点に着いたことにホッとします。

今回はスタート時点から小雨が降っていて20日未明まで続きました。カッパを着て歩きました。

78キロはとても長くて、ただただ歩くのみ。足の指等にマメができて痛く、足首、膝関節、腰も痛くなります。それでもゴールを目指して歩き続けるわけです。誰かと競争するわけではなく、自分との対話です。

沿線では、応援してくれる地区の皆さん、子どもたちからの飲食の提供、声援がうれしいです。そして花や景色の移ろいが楽しいです。

自分は登山で鍛えているから足には自身がある人、一度歩いてみようかなと思う人『78キロ』を歩いてみませんか。新しい発見があるかも…ですッ!!



## 出席者 8 名～ちょっとさびしかった 4 月例会

4 月 22 日(火) 14 年度最初の例会が開かれ、8 名が出席して今年度の会の運営や山行計画について討議した後、角田山山行と九州遠征登山のスライドを鑑賞しました。

### 1 今後の拡大役員会と例会の運営・進め方について

この件は機関紙に掲載した通りの内容を確認しました。  
重複掲載は避けますので、内容は機関紙 4 月号を参照して下さい。

### 2 山行報告～3 月例会(3/11)～4 月例会(4/22)

①3/13(木)～23(日) 九州百名山 谷口 勝野 宮島 +4 名 7 名

②3/16(日) 八方尾根 鈴木 小山 尾形 桑原 4 名

悪天のため八方池の上部までしか行けず

③3/23(日) 八方尾根；鈴木 1 名；悪天のため八方池の下までしか行けず

④4/1(火) 京ヶ倉；土田：1 名

⑤4/4(金) 大町人工壁トレニング；勝野 齊藤(松芳)：2 名

⑥4/6(日) 角田山；会員 10 +3：計 13 名 前号にて報告済み

⑦4/9(水) 白馬乗鞍・山滑走；横田：1 名

⑧4/12(土) 唐松岳～二股・山滑走；横田：1 名

⑨4/20(日) 日向山；土田 +1 名(夫人)：2 名 参加者確認に齟齬あり

⑩4/20(日) 針ノ木岳・山滑走；横田：1 名

⑪4/19(土)～20(日) 佐久市強歩大会；小山：1 名

その他

4/5(土)県連野外救助講習及 4/12(土)～13(日)県連天狗岳東壁共に不参加

3/23(日)予定の岩殿山は、参加者少数のため中止決定した後に参加希望者があ  
り、決定の判断時期の問題を残した。

4/5(土)～6(日) 大阪熊岩搬出訓練；鈴木

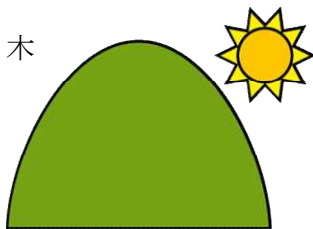
4/11(金)紀泉アルプス；鈴木

4/12(土)大阪屯鶴峯アイゼントレ；鈴木

4/13(日)大阪泉州公開ハイク中山連山；鈴木

4/16(水) 岩トレ；鈴木

3 月 22 日(土)、23 日(日) しまなみ海道；森田+子ども 8



### 3 今後の山行計画について

①4/27(日) 針ノ木雪渓雪トレ；集合：扇沢 P/7:00

②5/3(土)～6(火) 岳沢・県連有志合宿

③5/11(日) 県連交流・鍬ノ峰 担当；鶴川 勝野

④5/18(日) 公開募集山行・鍬ノ峰 詳細別途

⑤5/31(土)～6/1(日) 米山；担当：森田 ※6/1(日)のみも可

⑥6/8(日) 針ノ木～蓮華岳 清掃登山～県連 50 周年山行の 1 つとする

⑦夏山合宿 前年と同じコースとする

### 4 事務局から

1 携帯メーリングリスト作成に関して

携帯メール・アドレスの空白を埋めたいので協力して下さい。

2 機関紙・大町労山だよりの発行について

山行記録の他、日頃の雑感や主張、あるいは単発、またはシリーズの読み物等、幅広い内容の原稿をお願いします。

3 組織拡大

当面は大町労山紹介のチラシを、松本市～白馬村の山の店などに置いてもらうことを試みることにしました。

4 会員の動静；4 月度 入会者 1 名 退会者 1 名 増減 0 現勢 25 名

### 編集係より

『大町労山だより』5 月号をお届けします。今号では 5 月連休の奥穂南稜における遭難関連の問題を取り上げましたが、紙面の制約から、先の拡大役員会で話された内容に留めました。今後も検証を深めていきたいと思っておりますので、みなさんの率直な声をお聞かせ下さい。

引き続き、山行報告や my 登山歴、ご意見、提案、所感・雑感等、お寄せ下さいますようお願い致します。

#### 次回例会

- 5 月 27 日(火) 19:30～
- 大町市 労働会館

みなさん、参加しましょう